

久振りて鎌倉に行きて

氏 原 銀

鎌倉の三面を圍む山々、鎌倉町の樹木は皆濃く
淺く新緑の色うるはしく装ひ、八幡鳥居通の櫻並
木も綠蔭濃やかにして、初夏の風情深し、八幡宮
に向ひ行くに、其境内の入口にある反橋と其左右
にある橋の、大震災で破壊せられたるも、皆修理
整ひ其朱欄の色の橋下の蓮葉の新緑との配合よ
く、此橋の左右に大なる池あり之れを源平の池と
言ふ。頼朝平氏追討の頃夫人政子の大庭平太景義
等に命じて此池を掘らしめ、東池に白蓮西池に紅
蓮を植ゑて源平の旗色を表はしたもにて、東方
より西方を滅ぼすと言ふ意味に象どりしもの、此
大池面全體に今や新緑滴る蓮の密生して、其葉面

に白玉の露を宿す風清もゆかしく、其花時の美觀
を想像するに餘りあり。夫れより境内に進むに、
年經る老樹の鬱蒼せる風致又社殿の後なる大臣山
の立木の綠濃き背景に、崇巖の意を深くす。彼の
震災に一部を破壊せられし正面の石階も修理せら
れ、其中程にある有名なかくれ銀杏の大木も、高
く四方に新緑の枝葉を伸ばし、其太き根株よりは
無數の新芽を出して此木の生氣旺盛のさまを見る
もめでたし。四十六段の石階を上れば震災に倒壞
せし、社殿と樓門は永らく再築中なりしが、全部
立派に修理出來上り、其丹朱塗の美しく、六月四
日假宮より此新社殿に遷宮の儀を舉行せられたり

と。此再築には主として舊材料を用ひ新材料で補ひたるものなる由、此建築費を聞くに、社殿六萬

五千圓、樓門五萬五千圓、此樓門の左右に弓矢を帶するずいじんの像も其衣冠の彩色の艶に此費用二千六百圓、下宮なる若宮八幡宮の正面階段の修理費三千圓、之れで此鶴ヶ岡八幡宮は其舞樂殿の再建なきのみで、全部復興したものなり、以上の工事は悉皆内務省の手によつて竣成せられしものなりと。追々と海濱に親しむ季節となり、此地にお出の方々は是非とも、御參詣相成て、此崇嚴の美觀を御覽ありたし。

次に鎌倉の幼稚園に付て其あらましを述ぶ。

鎌倉町の幼稚園數は三つ皆私立なり。

一、ハリス紀念鎌倉幼稚園 二十年前の設立で大町電停前の鎌倉教會堂を利用するもの、保姆四人幼兒數百二十人、此保姆諸氏の幼兒に對しては、皆熱心に温情深く毫もすきのなき保育振りに感心

す、尙スキップの輕快にして優美なる其活躍を參觀す。

二、佛教派潤光幼稚園 昨昭和四年九月の設立で、八幡宮の直下雪の下にあり、保姆二人幼兒數二十三人、町家に遠ざかれる閑靜な屋敷町に新築せられ、庭園の設備ある上に附近に廣き明き地あり、幼兒は自由に此處に遊び草花等を摘み來りて、砂場遊びに配し又八幡宮の境内に行きて自然に接觸するを得。此自然に恵まれる、ゆつたりとした氣分を養ふ理想的保育の状態を參觀す。

三、天主教教會附屬幼稚園 本年四月の開園にて由井ヶ濱通芭蕉小路天主教教會内に新築せられたるもので、幼兒數三十人、保姆二人で靜かな場所なり、參觀の日は土曜日で此派のおきてで、園にて保育の状態を見る事出來ず、若き保姆さんの懇ろなる案内に唯其設備を見て辭したり。